



ソーシャルスキルトレーニング絵カード

幼年版

場面の認知（危険回避と約束事）

構成：A5判44枚組

1	「ブランコに乗ろう！」 揺れているブランコは危ないです。ぶつかって怪我をするかもしれません。
2	「ボールを蹴ろう！」 人がいる方に向かって、蹴ると危ないです。そこにいる子たちに、ボールが当たってしまうかもしれません。
3	「ここにすわろう！」 窓の敷居は細すぎて危ないです。落ちて怪我をするかもしれません。
4	「そこにキラキラ光るものがある、見てみよう！」 そこは自動車の通る道です。危ないです。走ってきた自動車にぶつかると怪我をします。
5	「棒があった、振り回すと面白い！」 長い棒は振り回すと危ないです。周りにいる子に当たってしまうかもしれません。自分も怪我をするかもしれません。
6	「お友達と一緒に散歩は楽しいな」 歩いていく方を見ていないと危ないです。ぶつかって怪我をするかもしれません。
7	「自転車を見つけた、車輪をまわすと面白い！」 指をはさむと危ないです。怪我をするかもしれません。
8	「あ、そうだ！ あっちへ戻ろう！」 急に向きを変えて走ると、危ないです。後ろにいた子が避けられないで、ぶつかってしまうかもしれません。
9	「何があるかな。下を見てみよう！」 のぞき込むと、危ないです。落ちて怪我をしてしまうかもしれません。
10	「ぼく、そこで遊ぶ！」 ジャングルジムの上で、人を押すと危ないです。落ちて、大怪我をしてしまうかもしれません。
11	「砂の上を歩くのは面白い！ スコップでどンドン掘ろう！」 良く見て歩かないと危ないです。砂に隠れていた友だちの手を、踏んでしまうかもしれません。勢いよく砂をとばすと、危ないです。友だちの目に入って目が痛くなったり、口に入ってしまったりするかもしれません。
12	「どうしてお昼寝をするの？ お昼寝なんかしたくない！」 ここにいる子たちを見てください。この子が騒いでいるので、眠れないようです。園の生活には時間の区切りがあります。今はお昼寝の時間なのです。 *お昼寝をすると、疲れがとれて元気が出ます。眠れなくても、静かに寝転んでいるだけでも良いのです。どうしても静かにすることが難しい時は先生に相談します。
13	「トイレに行こう！」 この子たちを見てください。この子たちもトイレに行きたいので、並んで順番を待っています。 *トイレには、一人ずつしか入れません。我慢ができる人は順番に並んで待ちます。
14	「おなかですいたから食べよう！」 この子の周りの子を見てください。まだだれも食べ始めていません。早く食べたいと思っている子も“いただきます”の挨拶まで待っているのです。園の生活には時間の区切りがあります。今は食べるのを待つ時間なのです。 *みんなの準備ができてから、“いただきます”の挨拶をして食べ始めます。
15	「いっぱい集めた！ これで作ろう！」 この子の周りの子を見てください。この子が一人でたくさん使っているの、おもちゃが足りなくて困っている子がいます。ここにあるおもちゃは、みんなで使う物です。 *どの子も使いたいおもちゃがあります。友だちと遊ぶときには「これ、使って良い？」と聞いたり、「あとで代わってね」と頼んだりして使います。
16	「良く見えないから、前に行って見よう！」 この子の後ろの子たちを見てください。この子が立っているの、紙芝居が見えなくて困っているようです。今は、みんなで一つの紙芝居を見えています。 *どの子もしっかり見たいのです。紙芝居は自分の場所で座って見ます。
17	「大急ぎ、大急ぎ！」 脱ぎっぱなしだった靴がなくなっています。靴は踏まれたり蹴られたりして、どこかに行ってしまったのかもしれない。 *脱いだ靴は靴箱に入れます。靴箱に入れておくと、はく時にも自分の靴が良くわかります。

18	「あっ、きれいな色のボールを見つけた！」 危ないです。ぶつかってしまい、痛くて泣いている子もいます。 *周りを見て、気をつけて歩きます。
19	「うんうん、この本、面白い」 周りには、使ったものが散らかったままでした。このロッカーの中も、整頓できていません。 *遊び終わったおもちゃは元の場所に片付けます。そうすれば、次に遊ぶ時に探さなくて済みます。
20	「あっちに行ってみよう！」 お母さんがそばにいません。お母さんから離れて一人になったら危ないです。お母さんは今、一生懸命にこの子を探しています。 *お母さん（行動を共にしている大人の人）と一緒に歩きます。
21	「この本、面白い！」 この子の周りを見てください。もう本を読める時間は終わっています。園の生活には時間の区切りがあります。今はお帰りの時間です。 *場面の切り替えの難しい子には、あらかじめ終わりの時間、予定などを提示しておくことが不可欠です。
22	「このひもを引っ張ってみよう！」 危ないです。ひもを引っ張ったら、箱が落ちてくることもあります。落ちてきたら、怪我をするかもしれません。 *これを教える前に、子どもたちの興味をひくものは予め片づけておく事が大事です。